

第1回 鶴川東地区新たな学校づくり基本計画推進協議会 議事要旨

開催日時	2023年5月24日（水） 9：32～11：14	
開催場所	町田市立鶴川第三小学校 視聴覚室	
出席者 (敬称略)	委員	中岡委員、渡邊委員、中村委員、岩永委員、嶋田委員、大川原委員、吉川委員、大塚委員、陶山委員、市川委員、◎鯨坂委員、 (◎：会長)
	事務局	新たな学校づくり推進課、教育総務課、指導課、保健給食課、学務課、施設課、教育センター、防災課
傍聴者	0名	

議事内容（敬称略）

はじめに 学校教育部長挨拶及び委員委嘱

学校教育部長 鶴川東地区において、2022年1月から新たな学校づくり基本計画検討会を開催した。全12回にわたり具体的な検討を行った。この検討を踏まえ、教育委員会では2023年3月に鶴川東地区小学校新たな学校づくり基本計画を策定した。

本協議会では、この基本計画の進捗状況の共有をはじめ、通学路の安全対策や通学時における児童の負担軽減など、具体的な協議を行っていきたいと考えている。

そのほかにも、学校跡地の検討や、鶴川第二小学校の建て替え等に伴う新たな避難施設機能の検討についての取組状況などを行いたいと考えている。

新たな学校づくりは、建物を新しくするといった新築計画ではない。児童・生徒の学びの場であるだけでなく、その学校が地域の拠点としても機能する、そんな学校をつくっていこうという計画になっている。施設だけではなく、その運営も併せて一新していくのが新たな学校の考え方である。

この取組を進めていくに当たり、各組織や団体を代表して集まっていただき、未来の子どもたちのために様々な議論をし、教育委員会や学校だけではなく、皆でこの取組を進めていきたいと思っている。

新たな学校推進課 続いて、学校教育部長から委員の皆様へ、本協議会の委員委嘱書をお渡しする。

〔 委嘱書交付 〕

1 鶴川東地区小学校新たな学校づくり基本計画推進協議会の設置について

新たな学校推進課 （資料1説明）

（会長・副会長選任）

2 委員自己紹介及び開催日程

（各委員自己紹介）

（資料2-2説明）

3 町田市鶴川東地区小学校新たな学校づくり基本計画及び町田市鶴川東地区小学校新たな学校づくり建設基本計画について

新たな学校推進課 (資料3-1、3-2説明)

施設課 (資料3-3説明)

4 報告事項

(1)新校舎建設等のスケジュールについて

新たな学校推進課 (資料4-1説明)

(2)工事期間中の避難施設について

防災課 (資料3-2を用いて説明)

委員 地区協議会も民生児童委員の皆様と共有しながら、災害時の避難行動要支援者に対して個別の避難計画をつくっている。防災課とも歩調を合わせて進んでいきたい。町内会・自治会、自主防災隊と情報共有をしてもらいたいが、必ずしも町内会・自治会に加入しているばかりではないので、工事期間中の避難所を示してほしい。避難ルートや鶴三小はどうかを知りたいので、情報を随時出してほしい。それを見て自分自身の個別避難計画を立てる人もいると思うので、情報共有をお願いしたい。

防災課 災害時、自力で避難することができない方の支援も含め考えていく。福祉の部署とも連携してやっており、できる限り情報を広げていく努力をしたい。

(3)新たな学校づくり説明会の開催について

新たな学校推進課 (資料4-3説明)

5 新たな学校への歴史の継承について

新たな学校推進課 (資料5-1、5-2説明)

[ワークショップ]

Aグループ デジタル保存について、ショートムービーのようなもので残し「見て楽しい」形で残せたらとの意見が出た。YouTubeでの発信や、学校のホームページで閲覧できたらいいとの案も出た。

卒業生や関係者の作品については、卒業生に一定期間公開し、返却するという意見が出た。その後、誰も取りに来なかった場合は処分。ただ、これは新しい学校に残す物がある場合は移設を対応し、卒業生の中で物品に思い出がある場合は、提供してもらう交渉は可能にしてほしいという意見もあった。

それから「樹木」については、メタセコイアのような大きなものはベンチになったら、とてもすてきかもしれない。けれども、建設を優先する必要はある。せめて桜の

木だけは残してほしい。また、新たに植えてほしいとの意見が出た。

Bグループ デジタル保存については、校歌など卒業生たちにも共通するものに関しては残せるが、個々の卒業制作などは写真でデータ化しホームページにアップするといったデジタル保存が良いのではないかと意見があった。

鶴川第二小は、合唱の成果としてトロフィーや賞状が残っているので、そういったものをどうデジタル保存で残すのか、現物をどうするのか結論がついていない。

卒業生に返却することに関しては、期間を決めて取りに来てもらうやり方で学校のホームページや市のホームページに掲載して周知してみるという意見が出た。ただ、卒業生がそのホームページを見ることはないとの意見もあったので、周知の方法は検討課題である。引き取りに来てもらうというやり方も検討する必要がある。

〔 ワークショップ 〕

Aグループ 鶴川第二小が2024年度に60周年ということもあり、音楽祭をポプリホールで開く計画が立っている。そこで、その音楽祭で歌う案が出た。また、各校の校歌を新しい学校のホームページに流れるようにできたらいいと意見が出た。

もう一つは、5時や5時半に、愛の鐘が鳴ったときに鳴る音楽がある。そういうときに校歌を流してもらうことはできないかなという意見が出た。

また、カラオケでそれぞれの学校の校歌を歌えるようにしたらどうかという意見も出た。

Bグループ 新しい学校のホームページで両校の音楽や音源を聞けるようにしたいと意見が出た。また、その音源は今の在校生に歌ってもらい流せるようにしたらいいのではとの意見があった。有名な方がつくった楽曲になるので、著作権の問題はしっかりとクリアした上でホームページにアップする。また、YouTube動画などで流すに当たっても、子どもの肖像権の視点が必要。

新しい学校には新しい歴史があるということで、過去の校歌も大事だが、新しい学校の校歌も大事との意見がでた。

〔 ワークショップ 〕

Aグループ デジタル保存と同じように、卒業生の作品や建物も含めて1つのショートムービーにして、BGMに校歌などを入れて作りたいという意見がでた。それには技術のある方々に声をかけるなど、プロにつくってもらいたいとの意見が出た。

Bグループ 周年行事の航空写真のようなものを撮ってクリアファイルを作るなど、そういうメモリアルグッズとして販売する意見が出た。また、既存の校舎だけではなく、過去

にどんな校舎があったという推移が分かるようなものがあると地域の方も喜ばしいのではと意見が出た。

学校にメモリアルルームのようなものをつくったとしても、卒業生は学校自体に入らないので、学校ではないところにそういう場所を用意しても面白いのではとの意見がでた。デジタル的な部分で言うと、Googleのサーバーなどを用意してそこで自由に閲覧できる仕組みがあってもいいとの意見が出た。

会長

〈閉会のあいさつ〉